

2008年3月期中間期 決算説明会



平成19年11月

株式会社DNAチップ研究所

(証券コード:2397)

DNA Chip Research Inc.

<http://www.dna-chip.co.jp>

. 中間期決算概要及び通期見通し	3	. 中期ビジョン	14
1. 中間決算サマリー		1. ユーザの要望シフトに対応： 受託解析とトータルサービスに重点	
2. 業績推移		2. 社内体制の整備	
3. 事業区分別業績		3. 現状	
4. 通期計画		4. 個人化医療に向かう社会の中で	
5. 下期、通期計画の詳細			
. 下期業績改善施策	9	. 健康クリニック事業(仮称)の展開 について	19
1. 下期業績改善プラン			
2. 売上高の確保			
3. 収益構造の改革			
4. 受託サービスの詳細(計画)			



・ 中間決算概要及び通期見通し

- 1 . 中間決算サマリー

項 目	2007年中間期	2008年中間期			対前年度比
		(予想値) ^(注1)	(実績)	比	
売上高(千円)	208,787	330,000	245,540	74%	118%
経常利益(千円)	198,072	199,000	195,586	-	-
当期純利益(千円)	198,547	200,000	195,954	-	-
研究開発投資(千円)	106,420	100,000	156,851	157%	147%
総資産(千円)	2,173,198	-	1,787,702	-	82%
純資産(千円)	1,338,292	-	1,480,018	-	111%
発行済株式の総数(株) ^(注2)	27,754	-	33,897	-	122%
一株あたり純資産額(円) ^(注3)	45,171	-	43,662	-	97%
一株あたり当期純利益(円) ^(注4)	7,153	-	5,780	-	-
経常利益率(%)	94.9	60.3	79.7	-	-
自己資本比率(%)	61.6	-	82.8	-	-

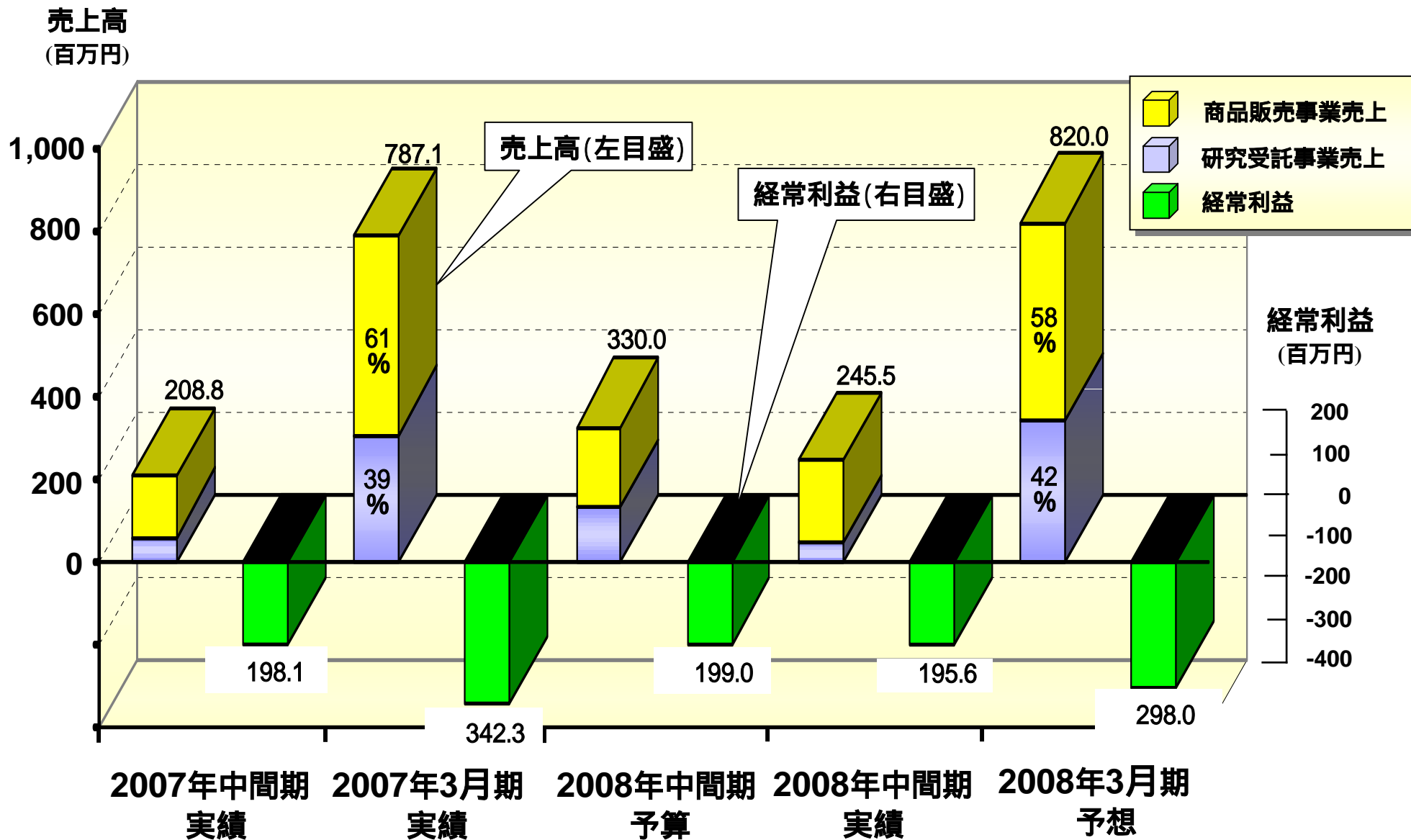
(注1) 予想値は、平成19年4月26日の決算発表時に公表した平成20年3月期中間業績予想数値である。

(注2) 期中平均株式数を記載。

(注3) 一株あたり純資産額：中間期末純資産 / 中間期末発行済株式数

(注4) 一株あたり当期純利益：中間期純利益 / 中間期中平均株式数

- 2 . 業績推移



- 3 . 事業区分別業績



株式会社DNAチップ研究所

(金額単位:百万円)

項 目	2007年中間期		2008年中間期		対前年比 (%)	説明
	売上高	比率	売上高	比率		
研究受託 事業	日立ソフト	18.0	9%	0	-	【説明1】
	公募関連	12.3	6%	0	-	
	一般(受託解析)	31.1	15%	49.5	20%	
	計	61.4	29%	49.5	20%	
商品販売 事業	汎用チップ	45.1	22%	22.4	9%	【説明2】
	開発機器	50.0	24%	101.4	41%	【説明3】
	一般機器	52.3	25%	72.2	29%	
	計	147.4	71%	196.0	80%	
合 計	208.8	100%	245.5	100%	118%	

【説明1】

業務分担の明確化により、日立ソフトからの研究受託費は本年度からゼロとなった。一方、受託解析においてはアジレントマイクロアレイによる受託解析が増加するとともに、ConPathチップによる受託解析も徐々に立ち上がり始めている。

【説明2】

顧客のチップ使用法が多様化している状況で、弊社の戦略としてアジレントマイクロアレイやConPathによる受託解析に注力した。このため、AceGene等汎用チップ販売は大幅に減少。

【説明3】

新たに当社が販社として取扱い開始したイルミナ社の高性能シーケンサーSolexaやアジレント等のライフサイエンス機器の販売が増加。

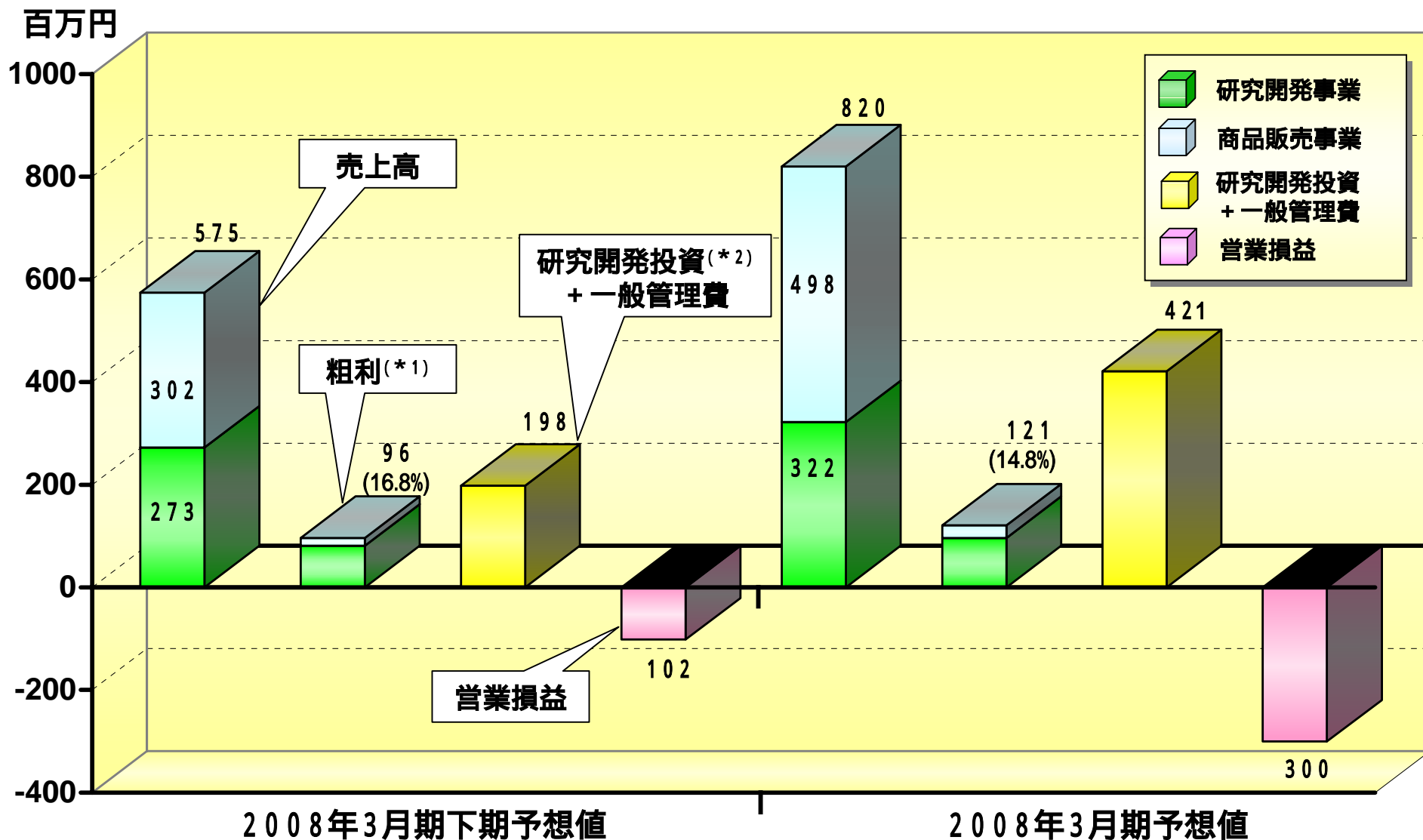
- 4 . 通期計画



項 目	2007年3月期 実績	2008年3月期 予想	対前年度比 (%)
売上高(千円)	787,120	820,000	104
営業利益(千円)	335,270	300,000	-
営業利益率(%)	-	-	-
経常利益(千円)	342,306	298,000	-
経常利益率(%)	-	-	-
当期純利益(千円)	410,756	300,000	-
研究開発投資(千円)	223,810	288,000	129
設備投資(千円)	16,652	15,000	90

- 売上高** (対前年度比較) : 研究受託事業 アジレントとの提携による大学、研究所や製薬会社からの受託解析サービス増加
商品販売事業 AceGene等汎用チップ売上は減少
機器・システム等独自の販売チャンネル開拓による売上増加
- 営業利益** : 診断チップ事業の早期立ち上げのための自家研究投資による営業損失の継続
機器・システム等の売上げ比率増に伴う利益率の低下
- 研究開発投資** : 【2008年3月期主な研究開発投資内容】
(1) 診断チップ事業
・血液による糖尿病、リウマチ等診断法の研究と診断チップ開発(大阪大学、金沢大学、埼玉医科大学等)
・大阪大学とのがん診断チップ開発
(2) ConPathチップ、教育用チップの機能追加
産業技術総合研究所、住友ベークライト、日本ガイシ等との共同開発継続

- 5 . 下期、通期計画の詳細



(注*1) : 売上原価から製品開発先行投資及び自社研究費等の研究開発投資分を除いた分(研究受託事業+商品販売事業の売上原価)の売上総利益

(注*2) : 国プロ等公募研究費を除く研究開発投資金額である

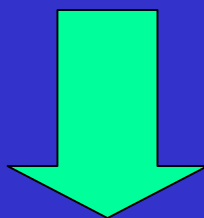


・下期業績改善施策

「業績改善」推進プラン

売上高の確保

収益構造の改革



業績改善

1 . 受託サービス受注への集中と拡大

受託解析サービスの強化

- ・アジレントCSP (Certified Service Provider) 認定の優位性を活用した製薬会社、化粧品会社、食品会社等民間会社からの受託拡大
- ・ConPath™チップを活用した臨床研究分野向け受託解析サービス拡大

RNAチェック技術開発による総合診断支援ビジネスの開始(詳細は後報)

- ・リウマチにおける薬剤効果診断ビジネスの試行
- ・解析結果データに対するセキュリティ管理・品質保証体制の整備
(品質保証グループの新設とプライバシー・マークの取得推進)

2 . 中間期受注残案件の売上確保

2008年3月期中間期受注残の確実な売上の確保

(2008年3月期中間期受注残 : 前年度比約5倍)

3 . ライフサイエンス関連機器販売の強化

市場での評価の高い機器、海外製新製品等の販売チャンネル確保

- ・イルミナの高性能シーケンサであるSolexaの販売強化
- ・アジレントのライフサイエンス機器の販売強化

1 . 顧客のニーズに応える製品

独自開発製品による顧客要望への対応

- ・ ConPath使用事例の整備による機能、性能の優位性の立証 (国際論文投稿等)
- ・ バイオ関連教育向け教育チップの教育現場への浸透

顧客の研究テーマに合わせたカスタム・チップ作製の充実

- ・ 顧客要望にあわせた日本ガイシ、住友ベークライト、アジレント等との連携推進

2 . 受注顧客層の拡大

大学・研究所等国の予算中心の受注から、民間企業からの受注拡大推進

- ・ 受注残の拡大による、次期予算策定時の確度向上
- ・ 大型案件の受注増加

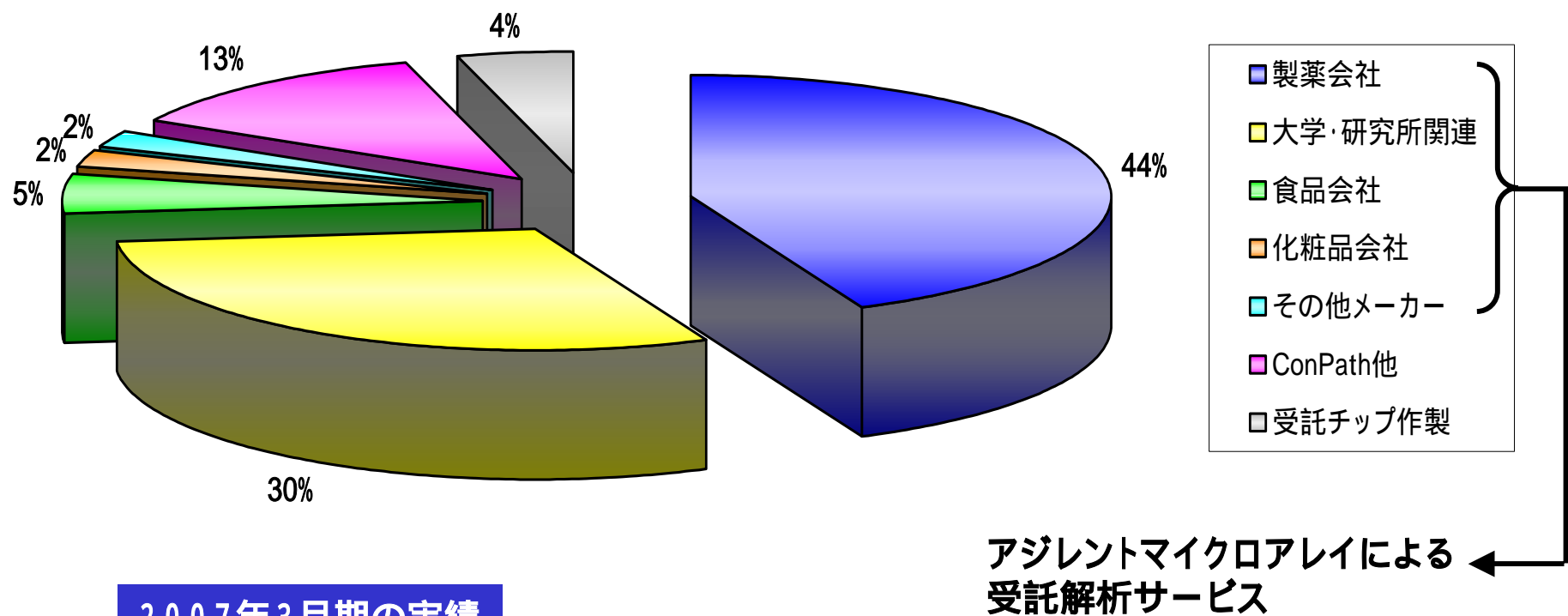
3 . 材料・解析業務のコスト低減

チップ作製素材のコスト低減と自動化推進

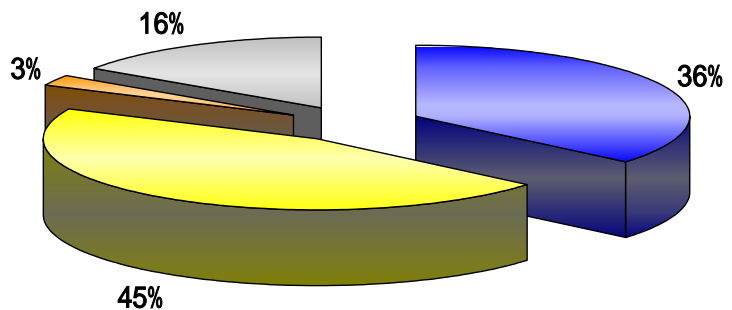
- ・ プラスチック基板等高性能で低価格基板の採用
- ・ 産総研との共同開発による新規高品質オリゴの採用
- ・ 自動化システムの導入による解析作業コストの低減

- 4 . 受託サービスの詳細 (計画)

2008年3月期下期売上予算における受託サービスの顧客分類



2007年3月期の実績



2008年3月期3Q, 4Qはアジレントマイクロアレイによる受託解析サービスを中心に、製薬会社、化粧品会社、食品会社等民間会社からの受託(50%以上)を増やしていく。
 ConPathチップの受託は大学病院、研究所を中心に進める。

・中期ビジョン

- 1 . ユーザの要望シフトに対応： 受託解析とトータルサービスに重点



株式会社DNAチップ研究所

- 1 . 「自分でする」よりも「できれば全部任せる」方向にシフトしつつあると判断
- 2 . アジレント社との契約を梃子にユーザーのニーズに応える受託解析を進めつつある
- 3 . これにより汎用チップ、オンデマンドチップ(=小規模多品種解析)への要望対応が容易化
- 4 . バイオ・インフォマティクスを強化し、データの解析サービスとトータルサービスを充実。
データ・マイニングにも協力
- 5 . 高度技術開発を続けるグループとして日本の研究コミュニティに貢献する姿勢は変えない

- 1 . マーケティング・営業部門、解析部門の間の動的協力体制
- 2 . 受託解析部門の整備と能力向上(特にアジレントサービスとトータルサービス)
- 3 . 研究開発部門の充実と体制の整備
- 4 . 医療機関との連携システムを強化
- 5 . 研究開発の成果をより早く事業に結びつける努力

- 1 . アジレント社とのCertified Service Provider 契約
(日本で唯一)
- 2 . 受託解析が上向き
- 3 . ConPathチップの上市
- 4 . ハイブリ先生
- 5 . 癌診断用データの蓄積
- 6 . 血液試料解析データベースの充実

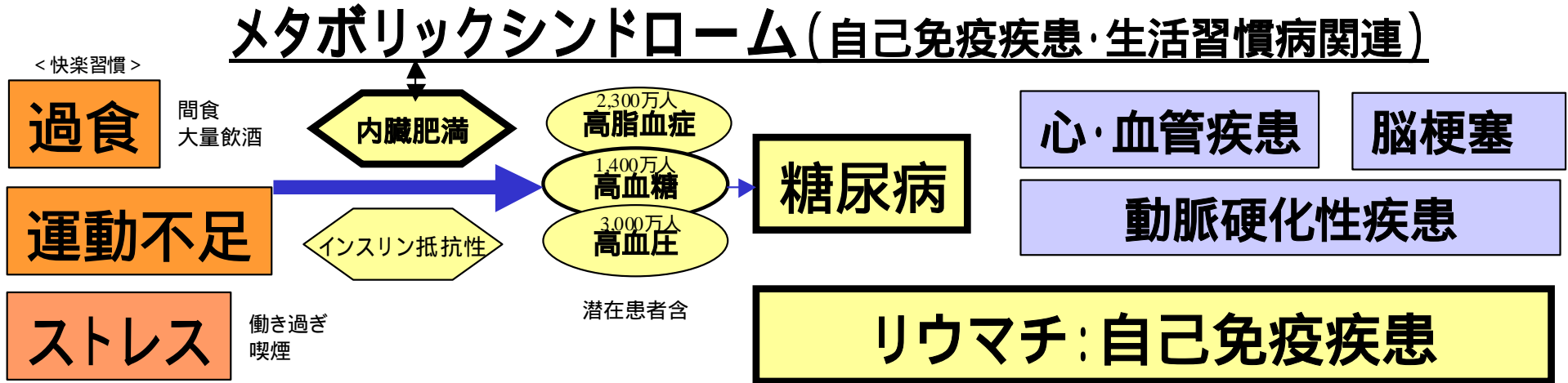
- 1 . 医療システムは、未病社会・脱高度介護社会に向かって進化しつつある
- 2 . その根幹は個人化医療、個人化健康診断
- 3 . DNA (遺伝子 = 素因) 検査とRNA検査 (RNA チェック = 状況) の必要性が高まってきた。
- 4 . この状況に対応できる技術とコンテンツの研究開発を進め、特色を持つビジネス展開を図る
- 5 . 当面のターゲットは癌、リウマチ、生活習慣病

健康クリニック事業(仮称)の展開について

1. 総合診断支援サービス事業計画(概要)
2. 総合診断支援サービスの仕組み
3. 総合診断支援サービスが目指す診断モデル
4. 生物製剤(抗リウマチ薬)の種類:今後の拡大計画
5. リウマチ医療体制
6. 関節リウマチ診療の現状
7. 総合診断支援サービス事業計画(まとめ)

1. 総合診断支援サービス事業計画(概要)

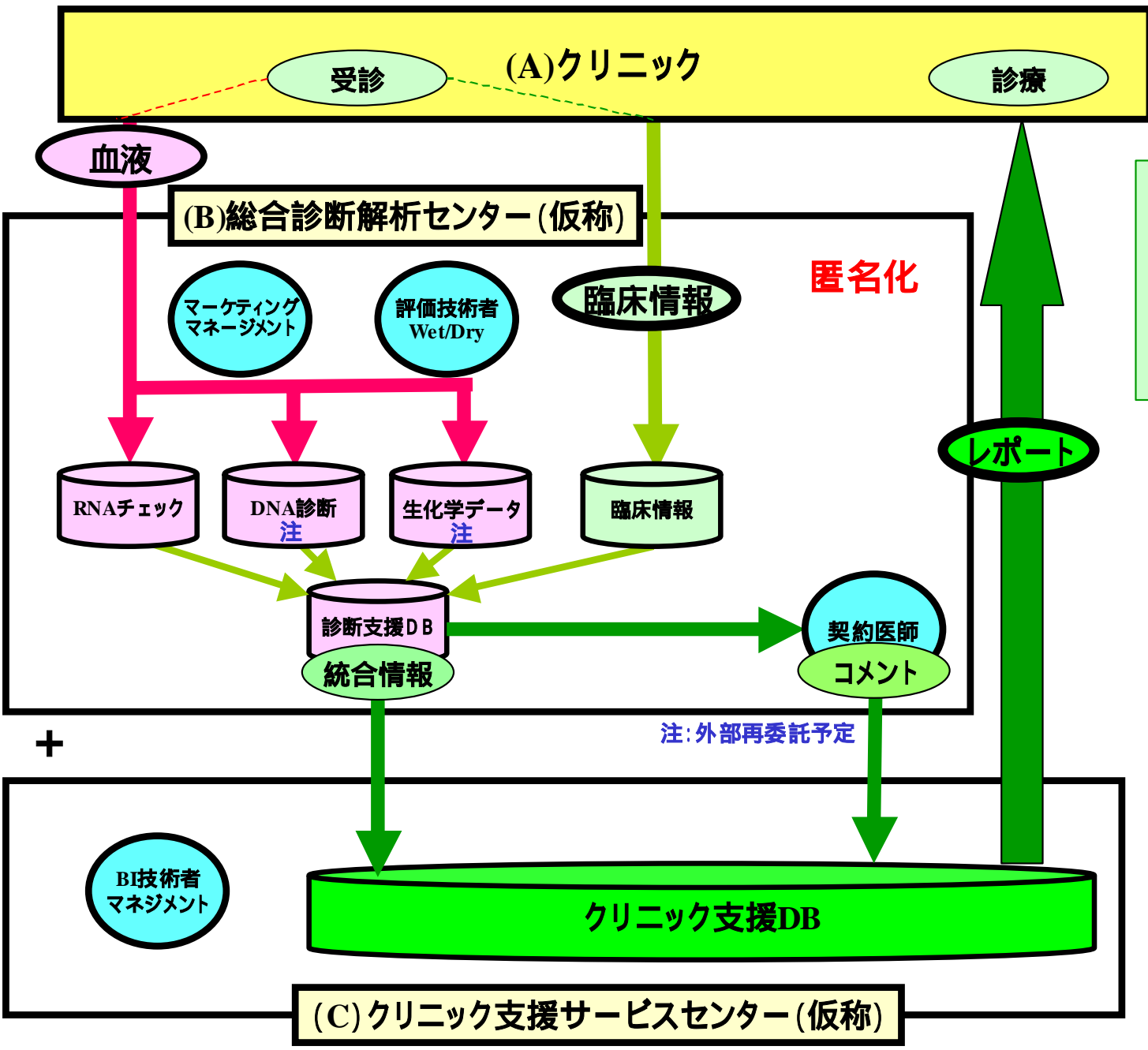
I. 狙い目市場を「メタボリックシンドローム」に焦点化し診断チップの開発



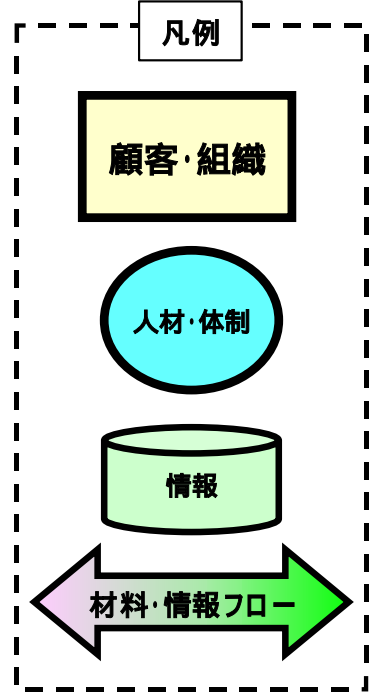
II. 遺伝子解析技術を応用した「健康クリニック事業」の早期立ち上げ

1. **総合診断支援サービス・ビジネス**：特徴はRNA診断を付加した総合診断サービス
従来検査項目に、遺伝子発現データ、情報を付加し、専門医師のコメントを追記した総合診断レポートの提供など！
2. **素材評価(治験)試験支援・ビジネス**：特徴はDNA / RNA実験・解析サービス
遺伝子マーカー探索支援・食品評価試験(遺伝子発現データ収集)など
3. **健康指導・ビジネス** **ヘルシー・ケアビジネス**：特徴は生活習慣指導サービス
体質検査(DNA検査)と症状診断(RNA診断)で、発症前段階で、食事指導、運動療法、健康補助食品、サプリメント選択指導など
4. **クリニック情報化・ビジネス**：特徴は遺伝子診断の啓蒙・普及・サイト支援サービス
クリニック用遺伝子診断カタログのカスタム対応作成・コンサルティング、啓蒙・教育用資料の有償作成など

2. 総合診断支援サービスの仕組み

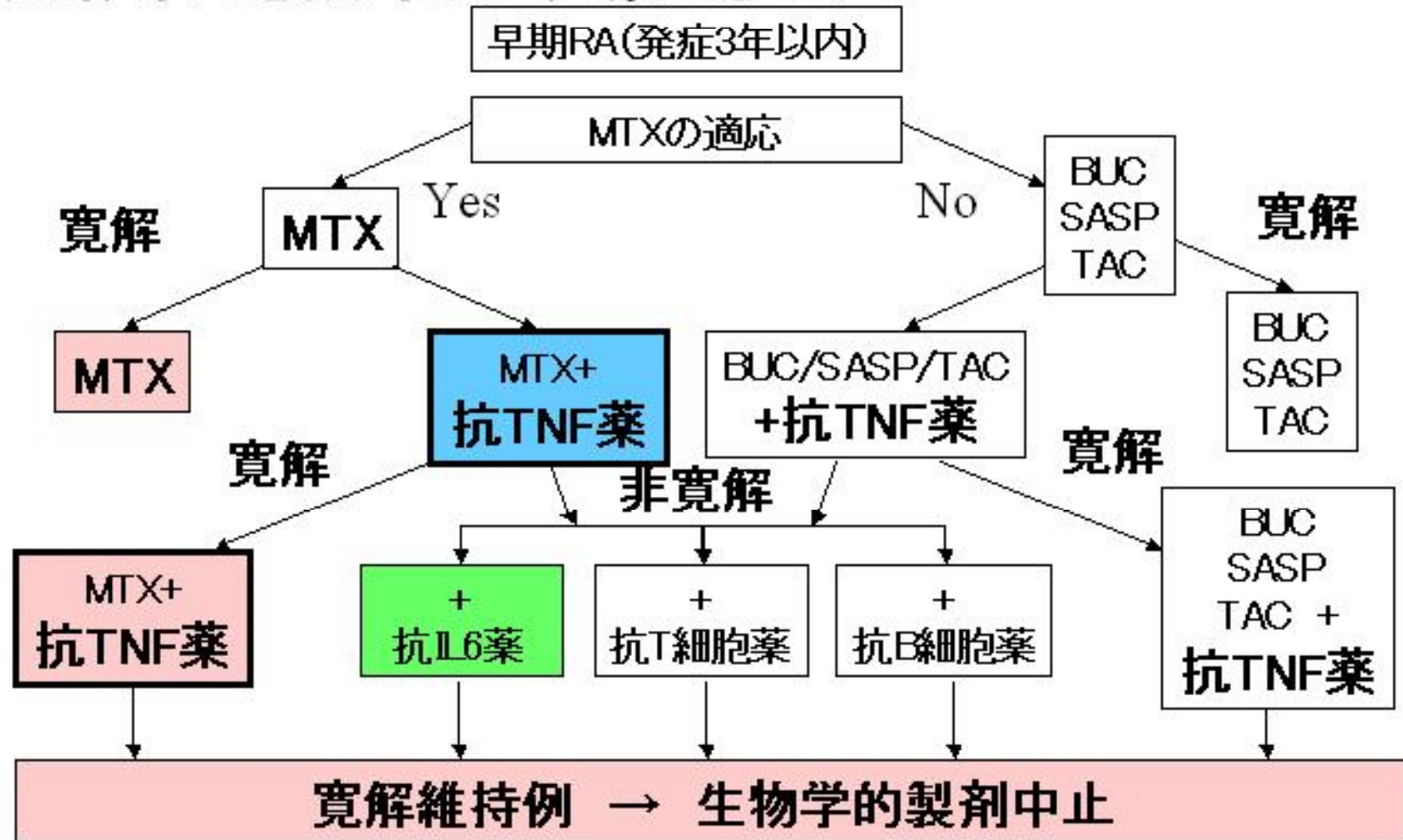


- サービス内容**
1. リウマチ診断
 2. 糖尿病診断
 3. 各種癌診断



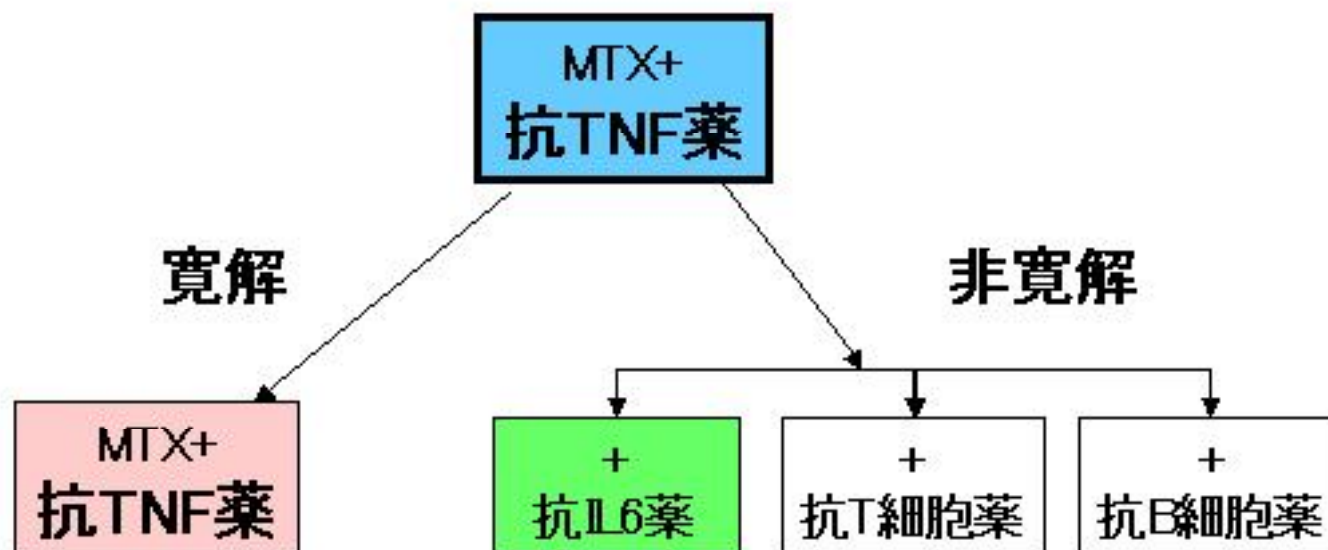
3. 総合診断支援サービスが目指す診断モデル

寛解導入を指向した早期治療モデル



4. 生物製剤(抗リウマチ薬)の種類:今後の拡大計画

リウマチの寛解へ向け、早期に個別治療方針を立てられるモデルを目指す(個の医療)



【厚労省承認済み】

インフレキシマブ(レミケード)
エタネルセプト(エンブレル)

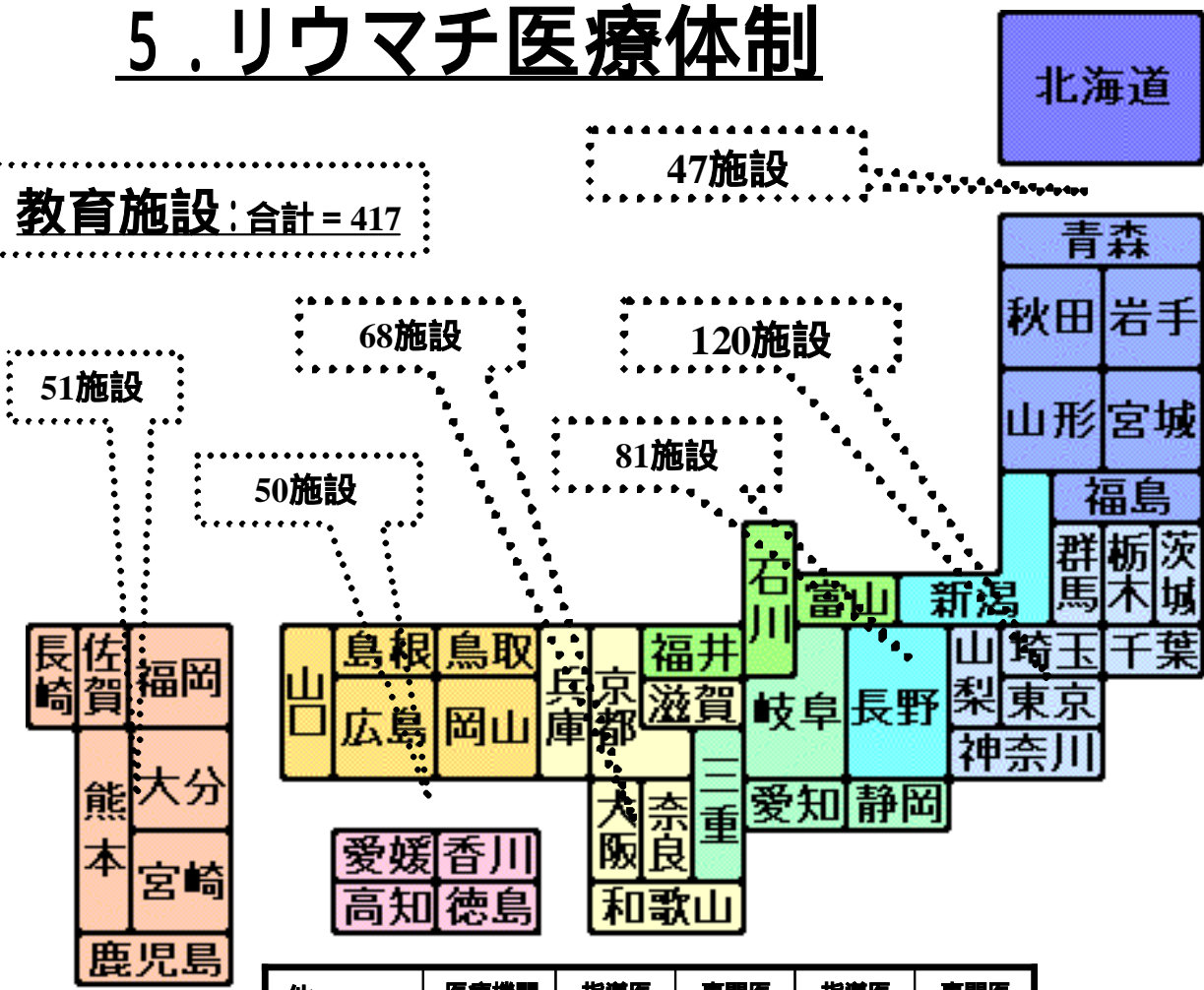
【承認見込み】

トシリズマブ(アクテムラ)

5. リウマチ医療体制



教育施設：合計 = 417



他ブロック	医療機関サイト	指導医人	専門医人	指導医率%	専門医率%
東北	181	47	205	26.0	113.3
甲信越	116	19	107	16.4	92.2
東海	412	62	376	15.0	91.3
北陸	96	15	100	15.6	104.2
中国	273	36	215	13.2	78.8
四国	137	32	146	23.3	106.6
九州	519	68	479	13.1	92.3
計	1,734	279	1,628	16.1	93.9

北海道ブロック	医療機関サイト	指導医人	専門医人	指導医率%	専門医率%
北海道	130	26	138	20.0	106.2

関東ブロック	医療機関サイト	指導医人	専門医人	指導医率%	専門医率%
東京	355	136	530	38.3	149.2
神奈川	203	68	268	33.5	132.0
埼玉	109	23	141	21.1	129.3
千葉	86	15	152	17.4	176.7
山梨	28	1	30	3.6	107.1
群馬	61	16	60	26.2	98.4
栃木	40	5	43	12.5	107.5
茨城	48	6	46	12.5	95.8
計	930	270	1,270	29.0	136.6

関西ブロック	医療機関サイト	指導医人	専門医人	指導医率%	専門医率%
大阪	286	47	286	16.4	100.0
京都	77	10	80	13.0	103.9
奈良	33	5	37	15.2	1112.1
滋賀	32	5	22	15.6	66.7
兵庫	97	26	185	26.8	190.7
和歌山	19	1	21	5.3	110.5
計	544	94	631	17.3	116.0

全国	医療機関サイト	指導医人	専門医人	指導医率%	専門医率%
合計	3,338	669	3,667	20.0	109.9

出展：H19/6
 ・リウマチ学会
 ・リウマチ友の会

6. 関節リウマチ診療の現状



関節リウマチとは？

体質: HLA DR4が陽性、自己免疫疾患・体の多くの関節に慢性炎症が起こり関節が腫れて痛む。進行すると軟骨・骨の破壊が進み、手・足の関節の変形と機能障害が起こる。患者は現在、100万人(1,640万人)、男女比は3:7で女性に多い!

悪化・進行

< 進行性の疾患 >

診断？

症状該当 4以上

< 1987年改定アメリカリウマチ学会分類基準: ARA >

- 1) 朝のこわばりが少なくとも1時間持続すること(6週間以上)
- 2) 3つ以上の関節療育の腫脹がみられること(6週間以上)
- 3) 手関節または、MP. または、PIP関節(指第二関節)領域の腫脹がみられること
- 4) 対称性の腫脹があること
- 5) 手のX線所見で異常がみられること
- 6) 皮下結節がみられること
- 7) ルウマトイド因子が陽性であること

指導・治療

テラメド医療、テラメド健康指導(栄養クリニック、スポーツ・クリニック)

抗リウマチ薬には10種類近くの薬剤があるのですが全体に共通した特徴がありますが、個々の違いがあります。

共通した特徴は

- 1) 遅効性であること(2~3カ月かかって、効いてくる)
- 2) 効果の出る人とでない人がいること(40~80%)
- 3) 効果は平均3年ぐらいで消失すること
- 4) 副作用のチェックが大切なこと(高齢者にはとくに注意)
高齢者(60歳以上)は出やすい。血液と尿で骨髄造血機能、腎機能、電解質、肝機能、また、聴診や胸部X線、CTで肺線維症のチェックをします。皮膚炎もよくおこります。

< 薬剤 >

1. カルフェニール
2. モーバー
3. リドーラ
4. アザルフィジン EN
5. メタルカプターゼ
6. リマチル
7. シオゾール
8. プレディニン(かなり弱い)
9. リウマトレックス(メソトレキセート)
10. インフリキマブ(レミケード)
11. エタネルセプト(エンブレム)
12. トシリマブ(アクテムラ)
13. アダリムマブ
14. リツキシマブ(リクシザン)
15. スタチン
16. テトラサイクリン他

関節リウマチ

悪性関節リウマチ 若年性関節リウマチ

- リテマトーデス
- シェーグレン症候群: 眼強皮症
- CREST症候群
- 多発筋炎
- 皮膚筋炎
- 壊死性血管炎
- 抗リン脂質抗体症候群
- 結節性動脈周囲炎
- 混合性結合組織病
- 未分化型結合組織病
- 鑑別不能結合組織病
- その他

心臓・肺・消化管・皮膚に病変 血管炎 発熱や心筋梗塞・肺炎・腸梗塞

治療の4本柱

1. 基礎療法

生活の注意-労働, 休息, 入浴, 睡眠, 食すりの飲みかた, 心の安静

2. リハビリ

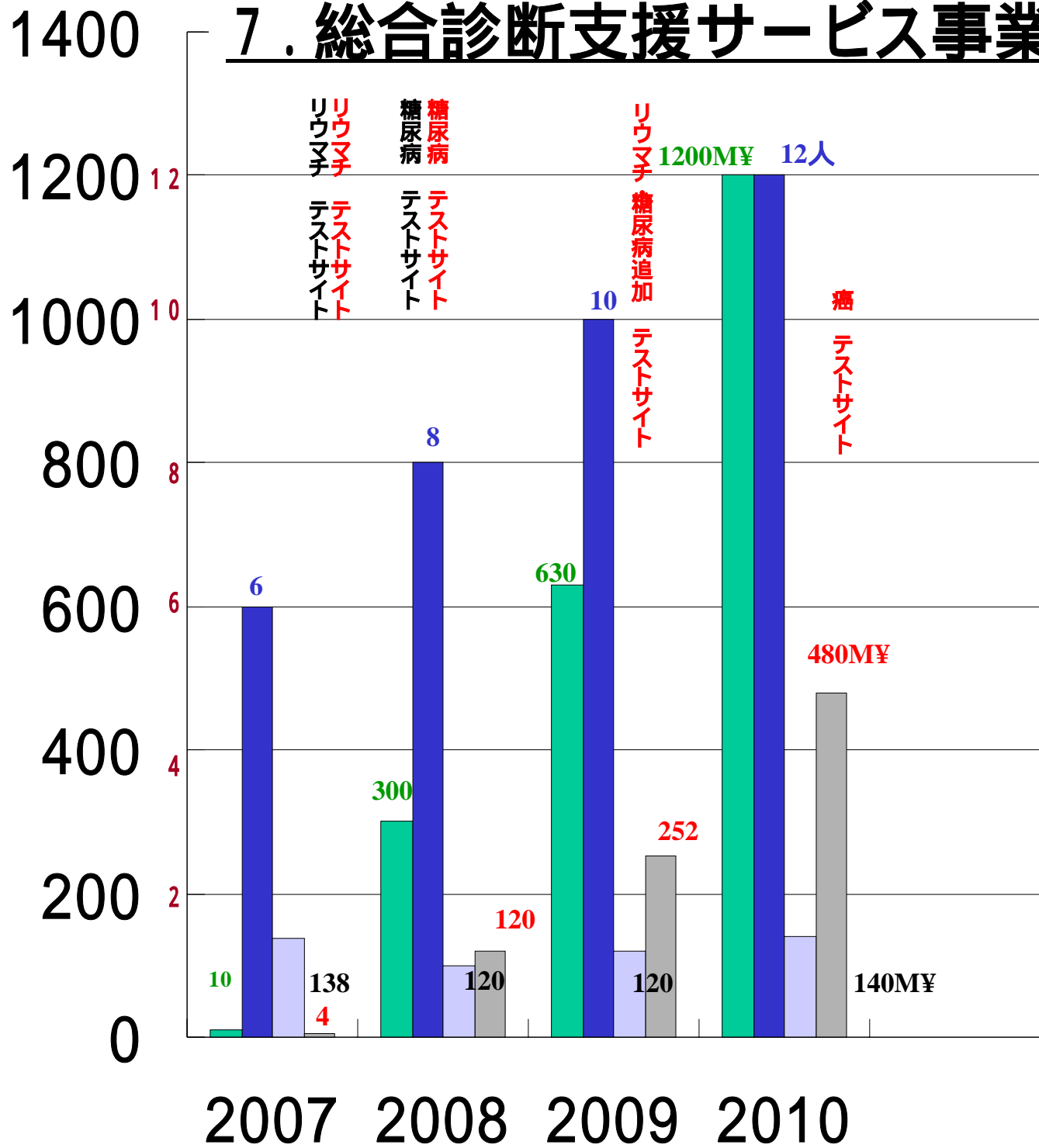
リウマチ体操, 日常の変形予防の動作

3. 薬物療法

1. 抗炎症剤
2. 抗リウマチ剤: DMRDs
3. ステロイド剤: NSAIDs
4. 抗サイトカイン剤: **生物薬剤**
4. 手術(滑膜増殖、関節破壊、脊椎亜脱臼、腱断裂)

- 強直性脊椎炎
- ベーチェット病
- 腸炎関節炎(潰瘍性大腸炎、クローン病、腸管ベーチェット病に伴う)
- 乾癬性関節炎
- 掌蹠膿疱症骨関節炎
- 反応性関節炎(咽頭炎、赤痢Shigellaなど)
- ライター症候群
- 血清反応陰性脊椎骨関節症
- HIV にもなる関節症
- ウイルス性関節炎
- 慢性疲労症候群
- 線維筋痛症
- 肥大型関節炎(肺など呼吸器疾患に伴う)
- 特発性びまん性骨増殖症(DISH)
- 変形性脊椎症(過骨形成性脊椎症もふくむ)
- Enthesopathy
- 変形性関節症
- 痛風性関節炎
- 偽痛風
- リウマチ性多発筋痛症
- 回帰性リウマチ
- 化膿性関節炎(時に多発性に発病する、透析患者、膠原病、高齢者)
- 結核性関節炎(ステロイド投与中)
- 悪性リンパ腫(シェーグレン症候群に関連あり)
- 多発性骨髄腫
- 甲状腺疾患にもなる関節症状
- アミロイド関節症(人工透析などをしている患者さん)

7. 総合診断支援サービス事業計画(まとめ)



■ 売上 (M¥)

■ 人員数 (人)

■ 研究費 (人件費・消耗品含) (M¥)

■ 粗利益 (M¥)

現状の課題と対策

- 正確な臨床サンプル収集
- MC (メディカル・コーディネータ) 派遣
- 診断判別精度向上
- サンプル数拡充
- サービス価格の低減
- 現システムとの分担拡充